



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



八千代市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第516号
2021年8月16日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

爆発的な感染で医療崩壊が現実のものに

8月に入り連日コロナ感染者数が増加し、8月13日の国内感染者数は初の2万人越えとなり、20,365人で、過去最多を記録しました。

八千代市でも8月7日の51例をピークに、連日20例を超える報告が続いています。市民から不安の声が急激に高まり、変異株が次々と報告されるなか、市議団のもとにも問い合わせが続いています。

市民が知りたい情報が伝わらない

昨年「情報の開示」を求めています。依然として八千代市の場合は「千葉県が取りまとめ」を行っているために、「八千代市の報告ができない」（健康づくり課）と言わざるを得ない状況です。

例えば、「コロナに感染した場合の入院先」も昨年同様、「県から指定された病院」というだけで、市内のどこの病院かは明らかにされていません。唯一はっきりしているのは「東京女子医科大学八千代医療センター」だけです。

さらに、自宅療養者に対するの病状確認も「個人情報保護法により、市は把握していない」として「本人が希望すれば、市内の方であれば保健師の訪問がある」とされています。

このまま感染者が増えることで、「入院先がなく重傷者であっても自宅療養となってしまうのではないか」と不安に駆られる市民の声は絶えません。



コロナに感染した場合の入院先として唯一明らかにされている「東京女子医科大学八千代医療センター」

「災害級」というが自然災害ではなく、明らかに「人災」

そもそも、このような状況になっているのは、「人流は減っている」「ワクチン接種による効果が」など、楽観論を振りまいてきた政府の判断ミスによるものです。東京をはじめ、コロナ禍のオリンピック強行は、感染者を爆発的に増やし続けました。専門家の「8月上旬には3千人超え」の予想より早く、7月下旬には3千人を超えていました。国民の命よりオリンピックを優先させた政府の責任は重大です。

感染爆発のもと、国民には自粛を求めながら、国民の命と健康を守る具体的手立てが取られていません。このような菅自公政権に国政を任せられません。

市は市民に寄り添い、情報の提供と適切な対応を

日本共産党市議団は、命を守る政治を最優先に進めていきます。そのためにも今、市民が不安に思っている疑問、「PCR検査はどこで?」「PCR検査は無料で受けられないの?」「市内の入院先はどこ?」「ベッド数の余裕はあるの?」「家族の世話が心配。自宅療養でも医師の訪問はある?」などに対して、八千代市が情報の提供とともに適切に対応するよう強く求めます。